

## I 過活動膀胱の総論

## ② 疫学

杏林大学医学部泌尿器科 金城 真実, 福原 浩

## KEY WORDS

- 過活動膀胱 (OAB)
- 疫学
- QOL (quality of life)

## はじめに

過活動膀胱 (overactive bladder : OAB) とは, 2002年国際禁制学会 (International Continence Society : ICS) により定義され, 改訂を重ね2010年に国際禁制学会と国際ウロギネコロジー学会 (International Urogynecological Association : IUGA) により最終的に標準化された疾患概念であり<sup>1)</sup>, 世界的にも普及している。男女ともに罹患率が高く, 生命に直接関わることはないが, 仕事や家事, 睡眠, 精神症状, 性生活といった日常生活や社会活動に影響を与え, 生活の質 (quality of life : QOL) を低下させる代表疾患である。本稿ではOABの疫学につき述べる。

## I. 大規模疫学調査

OABの縦断的な疫学調査は世界的にも数多く行われているが, その代表的

なものを表1に示す<sup>3)-19)</sup>。OABの診断基準, 調査対象 (年齢層, 性別, 人種, 地域など) や調査方法 (電話調査, 郵便調査, 面接調査, 診察時調査, 電子カルテ上の疾患コードなど) により罹患率は影響するため注意を要する。そのためその率にはばらつきがあるが, 大きな特徴としては男女ともに加齢とともにその有病率は上昇し, 女性では切迫性尿失禁 (urgency urinary incontinence : UUI) を伴うOABwet (UUIを伴わないものをOABdryという) が多いというものである。一般的には女性のほうが男性より有病率が高いが, わが国では男性のほうが高いと報告される。

2003年に報告されたわが国における大規模疫学調査<sup>5)</sup> は全国75地点の住民台帳より無作為に抽出した40歳以上の男女を対象に郵送法にて調査票を回収したものである。OABは「週1回以上の尿意切迫感を有し, 排尿回数が1日8回以上のもの」と定義された。解析数4,570人 (回収率44.4%), 平均年齢は

Manami Kinjo (講師)  
Hiroshi Fukuhara (教授)